

## 絵本の作り手に会ってきた

2008.07.30

函館市内は、麻疹の発生を受け各医療機関はぴりぴりとした対応を余儀なくされています。1歳、小学校入学前、中学1年生、高校3年生で麻疹・風しん混合ワクチンをまだ受けていないお子さんは、出来るだけ早急にワクチンを受けてください。麻疹にかかって命を落としてから、あのときにしておけばと悔やんでも命は返ってきませんから。

7月の連休を利用して、子どもの心研修会に参加してきました。今回の研修会の自分の中での一番は、福音館書店を立ち上げ、多くの絵本作家を世に送り出した松居直さんの話を聞くことです。松居さんの話は、函館市内の幼稚園の記念講演で10年ほど前に聞いてから久しぶり。今回は子どもの心に絡めて、絵本の持つすばらしさと、絵本を介して親と子がしっかりと結ばれていくことの大切さなどのお話をたくさん聞かせていただきました。

私たちのことばは誰からか与えられたものではなく、母からの語りかけから伝承されて伝わっていくものであること。大人のことばが貧弱であれば、子どものことばもそれに伴って貧弱になること。本がすき、言葉が大好きな子どもは、その言葉を信じて自分の道を開いていけること。子どもの絵本は作者のものではない、子どもが覚えているのはその絵本を親が読んでくれたことと、絵本に親しんだその時間が自分にとって最高の時間だということ、そのことを絵本のことを思い出すたびに頭に浮かぶ。絵本に書かれている絵も子どもにとって言葉になっている。大人は言葉を読むが、子どもは絵本の絵を読んでいる。人間にとって大切なものはどれも目に見えるものではない、時間も愛情も楽しみも、でもそれはすべて言葉であきらかにすることはできる。だから、言葉で表現すること、表現する手段を親から伝承されることが大切なんだと。

夏休みのひととき、子どもと絵本で最高の時間を過ごしてみませんか？